



佐藤 智樹総院長
(前列中央)

【プロフィール】熊本大学医学部卒。熊本大学病院、熊本市市民病院、出田眼科病院で眼科の基礎を学び、現在まで1万件以上の手術実績あり。白内障・緑内障・屈折矯正が専門。

佐藤眼科グループでは、眼科一般治療をはじめ、難治例や重症例に関しては各分野の眼科専門医が診断、薬物治療、手術までチーム医療で対応。
【2024年は、3478件手術を実施「詳細はHPをご覧ください」】

新しいレーザー機器により、より早く正確に見え方も向上した「レーシック」
角膜をレーザーで整えて視力を矯正するレーシックは、ICLやIPCLを入れる隙間が狭い人にも行えます。「当院ではフェムトセカンドレーザーという特殊なレーザーを用いてフラップを作り、精密なエキシマレーザーで治療するため、正確に近視や乱視の矯正ができます。ただし、近視がとも強い方、ドライアイが強い方、術後に目を打撲する可能性がある方はこの手術には向いていません。また、まれに近視が強い方は数年かけて近視が戻るこ

レーザーで角膜表面を整え視力を矯正する手術

レーシック

【レーシック手術方法】

- ①点眼麻酔をする
- ②角膜フラップを作成
- ③フラップをめくり、エキシマレーザーを照射
- ⑤フラップを元に戻す(自然に密着し、縫合は不要)
- ⑥保護用の点眼薬を使用し終了

※手術は 両目で15分程度で完了し、翌日には視力が回復します

【メリット】

- ◆手術は短時間で日帰り
- ◆視力も翌日～数日で安定する
- ◆費用がICLやIPCLに比べて安い

【デメリット】

- ×近視が強い人は術後に近視が戻ってくる可能性がある
- ×ドライアイがある人は術後に悪化することがある
- ×角膜を削るため、元には戻せない

レーシック (自由診療)	片眼19万8000円(税込) 両眼39万6000円(税込)
-----------------	-------------------------------

※支払いは、医療ローン(最大60回払いまで)も利用可能。詳細は問い合わせください。
※術後1年間の診察は無料。術後1年以上の定期検診費用は1回の受診につき2200円(税込)
※追加照射が必要になった場合は初回手術から3年間は無料。

「眼科ドック」を受けてみませんか？

国家資格を有する視能訓練士と看護師が行い、専門医が的確に診断。一般眼科外来と多くの専門外来をそなえ、ドック受診後の治療もスムーズに!

【眼科ドックの流れ】

- ①問診
- ②視力眼圧検査
- ③調節機能検査
- ④両眼視機能検査
- ⑤視野検査
- ⑥ドライアイ検査
- ⑦前眼部解析検査
- ⑧三次元眼底解析検査
- ⑨後日検査報告書を郵送

◎検査時間/約90分 ◎料金/2万2000円(税込)

◎申込み/ Web又は電話 ※眼科ドックは【予約制】です

眼科ドックは
このような人にオススメです

- 40才を過ぎた
- 3年以上、眼科を受診していない
- 緑内障の血縁者がいる
- 強度の近視がある
- パソコンやスマホで目を酷使している

医療法人 樹尚会



佐藤眼科 熊本
SATO eye clinic KUMAMOTO

〒860-0047 熊本市西区春日3-24-1 JR熊本春日北ビル1階

話題の近視治療 ICL・IPCL やレーシックも

豊富な選択肢から叶える「視力矯正」

昨年5月、JR熊本駅新幹線口すぐに開院した「佐藤眼科熊本院」。荒尾、大牟田に続くグループ3院目となる同院では、専門の検査・手術設備をそなえ、5人の眼科専門医によるチーム医療を実施しています。

医療法人 樹尚会 佐藤眼科 熊本

眼科のほぼ全分野に対応する「佐藤眼科」だからできる、さまざまな視力矯正の提案

近年は、遺伝的な要因に加え、スマホやパソコンの使用時間の増加や屋外活動の減少により、世代を問わず近視の増加が問題となっています。今回は、佐藤総院長に「視力矯正」治療についてお話を伺いました。

「ICLやIPCLは、環境的な要因で目が悪くなった場合、「よく見える」ようにするためには、近視や乱視などを矯正する必要があります。その方法として一般的には、眼鏡やコンタクトレンズが挙げられますが、最近話題のICL・IPCLや、レーシックなどの「手術治療」もあります。

「ICLやIPCLは、眼内コンタクトレンズとも呼ばれ、眼の中、虹彩の裏にコンタクトレンズを入れ込む手術。レーシックは、目の表面の形をレーザーで整える手術です。いずれの手術も片眼数分程度の痛みのない手術で、成功率や手術の精度もほぼ同じですが、眼の中の手術か、外の手術かという違いがあります。

強度近視やドライアイでも可能な「ICL・IPCL」

ICLやIPCLは、黒目と白目の間を3mm程度切開して、そこから虹彩の裏に眼内コンタクトレンズを埋め込みます。一方、レーシックは、角膜を削る必要がなくなります。

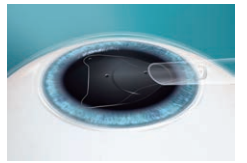
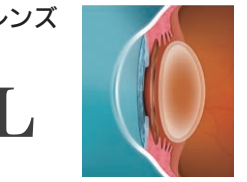
目の中に眼内コンタクトレンズを埋め込む手術

ICL・IPCL

【20代～40代の人々が適応】

【ICL・IPCLの手術方法】

- ①散瞳剤点眼で瞳孔を開き、点眼麻酔をし、黒目と白目の境目に数ミリの創口を作成
- ②創口からICLまたはIPCLを挿入し、虹彩と水晶体の間に固定
- ③切開創は糸で縫合することなく、閉じる



※手術は両目で15分程度で完了し、レンズは手入れ等なしに半永久的に眼内で安定します

【メリット】

- ◆強度近視や角膜が薄い人でも対応可能
- ◆ドライアイになりにくい
- ◆元にもどせる(レンズを取り出せる)

【デメリット】

- ×手術費用がレーシックに比べ高額
- ×まれにレンズ交換や調整が必要
- ×まれにTASSなどの炎症反応が起きる場合がある

※1、TASSとは…Toxic Anterior Segment Syndrome
白内障などの手術から24時間以内に前眼部に発症する急性、非感染性炎症性疾患で点眼治療等が必要

ICL IPCL (自由診療)	(乱視矯正なし)	片眼27万5000円(税込) 両眼55万円(税込)
	(乱視矯正あり)	片眼33万円(税込) 両眼66万円(税込)

※支払いは、医療ローン(最大60回払いまで)も利用可能。詳細は問い合わせください。
※術後1年間の診察は無料。術後1年以上の定期検診費用は1回の受診につき2200円(税込)
※度数スレや視力低下が起きた場合は、術後3年間は無料でICL入替保証あり。

◎ 診療時間 [完全予約制]

	月	火	水	木	金	土
午前 9:00～12:00	○	○	○	○	○	○
午後 2:30～5:00	○	○	*	○	○	—

休診日/日曜・祝日 ※水曜午後は手術のみ

電話予約

096-326-2500

(受付時間/月～金 9:00-17:00、土 9:00-12:00)

Web予約および
Instagramはこちら



Web予約 Instagram

